

■山中定次郎 古美術商。{山中商会}一族の養子となり、東洋の至宝を歐米に販売、世界の“ハウス・オブ・ヤマナカ”に。

やまなかていじろう

薩長同盟・・1866=

大坂堺で、古美術商安達信五郎の長男に生まれる。

明治維新・・1868= 2歳：

学問のすすめ1872= 4歳：この年、山中商会2代目吉兵衛が死去。

初の民間工場1875= 9歳：

三つの反乱・1876=10歳：この年のフィラデルフィア博で、アメリカの“日本熱”が始まる。

西南戦争・・1877=11歳：小学校を卒業すると、

大久保暗殺・1878=12歳：大坂高麗橋の古美術商山中吉兵衛(大阪道具界“三傑”吉郎兵衛の兄)方に丁稚奉公に出され、

身を粉にして働くうち、気に入られ、

明治14年政変1881=15歳：

1883=17歳：以降3年、おそらく府立大阪商業講習所の夜間科にも通い、
秩父事件・・1884=18歳：

吉兵衛の長男・次男が夭折し、三男に跡を継がせる一方で、

帝国憲法発布1889=23歳：その長女貞の婿に迎えられ、山中定次郎となる。

帝国議会始・1890=24歳：長男吉太郎が誕生。

アメリカで“日本熱”が続くなかった

郡司千島探検1893=27歳：

日清戦争始・1894=28歳：*山中一族の期待を抱って、吉兵衛の長女の長女の婿養子山中繁次郎と渡米、ニューヨークに仮店舗開き、
日本工芸品の第一回試賣会を開催して好成績を収めたことから、

日清戦争終・1895=29歳：フェノロサ・ビグロー・モースらの協力を得て、ニューヨークに本格的な店舗を構える。

この間、イーストマン商業学校にも通って、現地での経営について学ぶ一方、スマス、フリーアラ有力な顧客を次々と獲得し、岡倉天心の指導もあって、信用されるようになります。

子規句歌革新1898=32歳：早くも目抜き通りに移転、ボストンにも支店を開設。

ピアノ国産化・1900=34歳：大阪上福島に工芸品製作工場を開設。*ロンドン支店を開設し、英國王室御用達になり、一族が{合名会社山中商会}と組織を改め、理事兼支配人となる。

教科書疑獄・1902=36歳：

日露戦争始・1904=38歳：映画を見て興奮、早速フィルムと映写機を購入して、道頓堀の劇場で一般公開し、好評。

日露戦争終・1905=39歳：この年、山中商会は大阪高麗橋一丁目に本店を、パリに代理店を開く。

古社寺保存法などで日本品が品薄になり、コレクターの目も中国産品に向かい、市場激変、

伊藤博文暗殺1909=43歳：北の大火で上福島の工場が焼失し閉鎖、自宅も焼失。

大逆事件判決1911=45歳：

明治天皇没・1912=46歳：辛亥革命で追われた清朝恭親王のコレクションを購入。

大正政変・・1913=47歳：養父3代目吉兵衛が死去。清朝恭親王のコレクションをニューヨーク・ロンドンでオークション開催。

第一次大戦始1914=48歳：

第一次世界大戦中、フランス人アンリ・ベーベルの浮世絵コレクションをロンドンの山中商会が松方幸次郎に斡旋し、流出した浮世絵が日本に戻る。ガウランド・コレクションの四条派・森派の名作も買い戻す。

ロシア革命・1917=51歳：北京に出張所を開設。*ニューヨーク店が一等地のロックフェラー所有の大きな店舗に移る一方、{合名会社山中商会}社長山中吉郎兵衛が死去し、以後、一切の業務を担当。

本格政党内閣1918=52歳：{株式会社山中商会}資本金200万円で発足、社長に就任。

ベーリー條約・1919=53歳：英國国王ジョージ五世からロイヤル・ワランテを贈られる。

大暴落・・・1920=54歳：メリーランド州からロイヤル・ワランテを贈られる。

原敬首相暗殺1921=55歳：

関東大震災・1923=57歳：ヨーロッパ各国を歴訪して古美術品を収集。大阪美術俱楽部で業界初の“展覧”となる東洋美術展を開催。以降、没するまで十数回にわたって、豪華な型録とともに大展覧会を開催して、美術品を販売する。

護憲三派圧勝1924=58歳：中国に渡り、天竜山石窟を訪問、以降、3年連続して、竜門・大同・仏印・シャム・ジャワを訪れ、
円本時代始・1926=60歳：「天竜山石窟踏査記」を著して自費出版。以降、没するまで、京都帝大・東京美術学校・奈良女高師・朝鮮總督府博物館・京都西陣織博物館・帝室博物館・東方文化学院京都出張所・京都陶磁器試験所京都市美術館などに、ガンドーラ仏その他の東洋古美術品の数々と書籍類を寄贈して行く。

共産党事件・1928=62歳：昭和恐慌のなか財閥による私財投げの象徴たる“神戸川崎男爵家蔵品入札”でもフリーアのため応札。シカゴに支店開設。*フランス政府よりシュバリエ・ドラゴン・ダンナン勲章を授与される。

世界恐慌・・・1929=63歳：{株式会社山中商会}の資本金を300万円に増資。

満州事変・・・1931=65歳：*スエーデン王室の收藏品を鑑定。

国際連盟脱退1933=67歳：*ドイツのヒンデンブルグ大統領よりローテン・クロイツ勲章を授与されるなどしたが、
事変後、中国美術品の調達が不可能になり、国際社会の日本非難で、経営が一気に困難になるなか、

一二六事件・1936=70歳：体調崩し容態急変、没した。フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章追贈。

朽木ゆり子「ハウス・オブ・ヤマナカ」、